

全国大腸癌登録を利用した診療支援 AI 開発研究のお知らせ

帝京大学医学部附属溝口病院・国立国際医療研究センター病院・慶應義塾大学病院では
以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2023 年 1 月 5 日 ~ 2027 年 12 月 31 日

〔研究課題〕 全国大腸癌登録を利用した診療支援 AI 開発に関する研究

〔研究目的〕

大腸癌に対する根治切除後に再発のリスクが高い Stage II, III 症例に対して抗癌剤治療(術後補助化学療法)を行うことが推奨されています。現在複数の治療法が保険で認められていますが、各患者さんに対してどの治療法が最適かはわかっていません。AIを用いて患者さんに最適な術後補助化学療法を選択できるようにすることが目的です。

〔研究意義〕

これまで医師の経験から画一的に行われていた術後補助化学療法ですが、AIの力によって、それぞれの患者さんに最適な術後補助化学療法がわかるようになります。

〔対象・研究方法〕

2008 年から 2013 年に大腸癌研究会参加施設において治療され、大腸癌全国登録に登録された約 20000 例の StageII, III 大腸癌の患者さんが対象です。年齢、性別などの臨床情報とともに補助化学療法とその治療成績について、AIに学習させます。その後、患者さんの情報を入力すると、学習したAIがその患者さんに最適な術後補助化学療法を提示できるようします。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属溝口病院: 研究代表者 小林宏寿 外科 教授,

国立国際医療研究センター病院: 研究責任者 山田康秀 がん総合診療センター センター長,

慶應義塾大学病院: 研究責任者 長島健悟 臨床研究推進センター生物統計部門 特任准教授

〔個人情報の取り扱い〕

本研究で用いられる大腸癌全国登録データは、個人の同定につながる情報(氏名や治療施設名)は含まれないように加工済みの情報です。

〔その他〕本研究で患者さんに不利益は生じないと考えられますが、謝金も発生しません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 氏名 山田 康秀 職名 センター長
所属: 国立国際医療研究センター病院 がん総合診療センター
住所: TEL: 03-3202-7181